

2025 年度 事業報告書

2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日

2026 年 2 月 25 日
一般社団法人ピーパック
代表理事 宿野部武志

1. 法人概要

【活動方針】

「病気をもつ人・患者会」と「社会」「ライフサイエンス企業・医療機関・教育研究機関」をつなぐ【ハブ】として、あらゆるステークホルダーとの対話・交流と協働を推進し、年間を通して当事者主体での情報発信・活動内容の企画を行い、下記3点のビジョンの達成を目指し活動した。

- ① 病気をもつ人が望む生活に近づくための支援体制をつくる
- ② 患者会が充実した活動をするための支援体制をつくる
- ③ 病気があっても大丈夫と言える社会をつくる

【事業内容】

非営利徹底型一般社団法人として、後述する「2.事業報告」の通り公益事業ならびに収益事業を行った。

【獲得助成金・受賞等】

- ❖ 5 月 1 日「公益財団法人洲崎福祉財団令和 6 年度継続助成金(1 年目)」に採択された。
事業名:難病をもつ障害者の自立を目指す新しい就労定着支援事業
助成金額:2,000 万円
プレスリリース→<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000134013.html>
活動報告→<https://ppecc.jp/activity/post/000572/>
- ❖ 11 月 11 日「the Boehringer Grant ‘Connections’ .」に採択された。
事業名:For The Better Choice and Healthier Life : To prevent dialysis initiation and renal failure of people with hypertension and diabetes. (高血圧や糖尿病をもつ人たちが早期から適切なケアを受け、末期腎不全・人工透析に進むことなくより健康な人生を送るための啓発プロジェクト)
助成金額:EUR 48,955.77

【全社的活動、内部統制、ガバナンス等】

- ❖ 2025 年は第 2 創業期と位置づけ、1 年間を通して法人のミッション、ビジョンから見直し、新たにキーメッセージと、2 つのビジョンを策定した。
- ❖ 法人ウェブサイト、ロゴマーク、コーポレートカラーの刷新を行った。
- ❖ 新規事業「テンポ経営®」を推進するため、社会(医療業界以外)との接点を増やした。
テンポ経営とは→<https://ppecc.jp/tempolp/>
- ❖ 理事の武田飛呂城が 7 月 1 日より常勤となり、新たに CHRO を兼務することとなった。
- ❖ 8 月に新たに 3 名が資格を取得し、合計 9 名が両立支援コーディネーターとなった。
- ❖ 「テンポ経営®」推進のため、9 月より基金を設置した。

詳細→<https://ppecc.jp/news/000587>

❖ 人事労務関連ガイドライン・規程を見直し、11月に改定した。

| | |
|--------|---|
| 1月6日 | 全体朝礼実施 |
| 3月26日 | 2025年度第1回理事会・定時社員総会開催・第2回理事会開催 |
| 4月3日 | 全体会議実施 |
| 4月16日 | ウェブサイトに2024年度事業報告・決算報告公開 |
| 6月1日 | 業務委託メンバー1名を短時間正職員として登用 |
| 6月25日 | 2024年度第2回理事会開催 |
| 7月1日 | 全体会議実施、理事武田が常勤化 |
| 7月31日 | 全体会議実施 2025年度臨時理事会・臨時総会開催 |
| 8月21日 | 全体会議実施 |
| 9月1日 | パート職員1名を短時間正職員として登用 |
| 9月9日 | 基金設置 |
| 10月21日 | メンバー合宿の実施 |
| ~22日 | 第一三共株式会社との、従業員同士の対話会実施 活動報告→ https://ppecc.jp/case/0001 |
| 9月19日 | 2025年度第4回理事会開催 |
| 11月25日 | 「テナポ経営®」商標登録 |
| 12月22日 | 2025年度第5回理事会開催 |

❖ 2025年12月末時点の社員数・会員数は下記の通り

- ・社員数(議決権あり):5名
- ・会員数(議決権なし):813名(前年同日比 +77)

※ここでの「会員数」は、ピーパックのコミュニティ(PPeCC サロン)の「会員数」を指す

2. 事業報告

I. 公益事業

i. 情報提供事業(メディア運営事業)

(ア) PPeCC サロン

病気をもって生活する上で生じるあらゆることを、なんでも気軽に書き込める掲示板機能と、会員限定コンテンツ閲覧機能を備えた会員同士のオンライン交流プラットフォームを運営した。

新規トピック数:1件

(イ) じんラボ

2013年4月より続く、透析歴39年の代表宿野部を中心に、腎臓に不安がある人、腎臓病をもつ人、透析を受けている人へ知識と情報、つながりの場を提供するウェブサイトを運営した。

また、毎週金曜日(週1回)にメールマガジン「Jinlab 所長通信」を発行した。

運営状況(2025年12月末現在)

| | | |
|------------|------------------|---------|
| 登録者 | 4,853名 | |
| ページビュー | 88,475/月 | |
| ユーザー数 | 25,061 /月 | |
| メールマガジン発行数 | 累計 516 回 | |
| メールマガジン配信数 | 2744/人 | |
| 新規記事公開数 | 研究員のはなし(体験談) | 8 本 |
| | 生き生きナビ(生活情報) | 7 本 |
| | 食生活研究室 | 1本 |
| | with Kidney 関連記事 | 12 本 |
| | | 合計:28 本 |

(ウ) ウェブサイトでの情報発信

- イベント開催情報、メディア掲載情報、活動報告、お知らせなどを発信した。
- コラム「わたしたちのこえ」を定期発信 累計本数:31 本(2025年12月末現在)

(エ) SNS での情報発信

フォロワー数(2025年12月31日現在、カッコ内は前年同日比)

Facebook 462(+20)

X(PPeCC+わたしたちのこえ) 782(+75)

(オ) 会員向けメールマガジン配信

毎月1回および臨時メールマガジンを配信(計19本)

ii. イベント事業(イベント企画運営事業)

当期は実施なし

iii. 調査研究事業(調査研究/政策提言事業)

(ア) みんなでつくろう、これからの医療(PPH)プロジェクト

あらゆる人が立場を超えて対話を行い、「病気があっても大丈夫」と言える社会を一緒に考え、創っていくためのプロジェクト。病気をもつ人視点の治療・薬・サービスを「あたりまえ」にするため、「病気をもつ人・患者会」と「ライフサイエンス企業」をつなぐ【ハブ/架け橋】としての役割を果たし、両者の交流と協働を推進するため、学ぶ場を提供する「みんつくゼミナール」、病気をもつ人の“こえ”を集める「みんつくホンネぽすと」、立場を超えた交流と協働を推進する「みんつくガイドブック」の3つの活動を行った。

• みんつくゼミナール

「みんつくゼミナール 2024」第5回を会場(東京)・オンラインのハイブリッドで実施した。3年間で全14回のセミナーを開催した「みんつくゼミナール」は今回をもって終了し、12月26日に3年間の活動報告書を公開した。

3年間の活動報告書→<https://ppecc.jp/activity/post/000616/>

| | |
|-------|---|
| イベント名 | 第4回「病気をもつ人の“こえ”を医療の未来に活かす ～みんなつくゼミナール 総まとめ in 東京～」 |
| 開催日時 | 2月9日(日) 13:30～16:30 |
| プログラム | 講演:長谷川 一男氏(NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ 理事長) 小村 悠氏(国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門/医薬品開発推進部門 スタディマネージャー) 上原 皓氏(筑波大学 システム情報系 助教/ディスカッションのみ) 東山 浩之氏(アステラス製薬株式会社・PPH プロジェクトメンバー/ディスカッションのみ) 交流会:「対話から始める PPI」(会場のみ) 開催報告→ https://ppecc.jp/activity/post/000546/ |
| 参加者数 | 76名(会場参加36名) |

- みんなつくホンネぼすと

「一緒にいただきますプロジェクト」の運営に絞って活動を行った。

- ✓ 4月11日 昨年末に行った「外食に関するアンケート」の結果発表

プレスリリース→https://prtnews.jp/main/html/rd/p/000000020_000134013.html

アンケート結果→<https://ppecc.jp/news/act-000557>

- ✓ 7月9日「第7回 PASE AWARD」の受賞を受け、「病気をもつ人と考える『やさしい食と空間』試食&体験イベント」を実施

詳細→<https://ppecc.jp/activity/post/000580/>

- ✓ Instagram(@honnepost_itadakimasu)の運用

11月14日～11月30日 #一緒にいただきます キャンペーン 2025 実施

詳細→<https://ppecc.jp/news/000600>

運営状況(2025年12月末現在)

| | |
|---------|--------|
| フォロワー数 | 259 |
| 投稿本数 | 33本/8社 |
| トータル閲覧数 | 26,191 |

- みんなつくガイドブック

みんなつく協働ガイドブック「実践篇」の制作を進めた。

(イ) with Heart プロジェクト

心臓病をもつ人、患者会(支援者)、医療者、企業など、あらゆる人が集まり、共に学び・話し合いながら「心臓病があっても大丈夫」と言える社会に向けたプランを描くプロジェクト。2025年は「こえを聴きあい、心をつなぐ」をテーマに活動し、2025年12月末、満5年をもって活動を終了した。これまで共に活動してきた方々と5年間の活動の成果を形として残し、それぞれがその先の活動につながられるような活動となった。

| | |
|-----------|--|
| 2月28日 | 心臓病をもつ当事者振り返り会 詳細→ https://ppecc.jp/news/act-000548 |
| 3月24日 | キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」 詳細→ https://ppecc.jp/activity/post/000550/ |
| 6月20日・25日 | 心つなぐ対話会 詳細→ https://ppecc.jp/activity/post/000581/ |
| 12月5日 | with Heart プロジェクト最終報告会 詳細→ https://ppecc.jp/activity/post/000602/ |

❖ 2025 および最終活動報告→<https://heartlibrary.ppecc.net/news-1238>

(ウ) with Kidney プロジェクト

じんラボ 10 周年企画として、腎臓病を進行させない・透析にならないため、QOL(生活の質)の維持向上のための、みんなでつくる CKD との上手な付き合い方のしくみ「患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド」を当事者、ライフサイエンス企業、医療者など、立場の異なる人たちと共に作成した。当プロジェクトは 2023-26 の 3 年間のプロジェクトとして行っている。本年は 3 か年計画の 3 年目の活動として、35 シートを制作・公開し、全シートを完成させた(公開完了は 2026 年 1 月 23 日)。合わせて 4 回のアンケート、2 回の定例ミーティング、2 回の当事者分科会を行った。また、2024 年度公益財団法人テルモ生命科学振興財団医療貢献活動助成金の採択を受けて、シートの使い方動画を制作、および企業の健康保険組合を通じて損害保険会社社内イベントにて「スターターキット」の配布を行った。

活動詳細→<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

使い方動画→<https://www.jinlab.jp/withkidney/aboutwk.html#5movie>

スターターキット→<https://ppecc.jp/news/000484>

(エ) 病気をもつ人のアドボカシープロジェクト

- 3月19日、NPO 法人日本医療政策機構協力の「Biotechnology Innovation Organization (BIO)主催の日米合同ラウンドテーブル『患者・当事者参画による健康長寿社会の実現とバイオ医薬品の革新』」に、代表の宿野部が登壇した。
詳細→<https://hgpi.org/events/bio-20250319.html>
- 5月17日、NPO 法人日本医療政策機構主催 患者当事者支援 プロジェクト「みんなの患者・当事者フォーラム 2025」に、代表の宿野部が出席した。
詳細→<https://hgpi.org/events/mip-ncd-20250517-1.html>

(オ) 調査研究プロジェクト

国立研究開発法人 科学技術振興機構 SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム(シナリオ創出フェーズ)に採択された「ピアサポートのDX化による、新しい当事者参画医療社会モデルの構築に向けたシナリオの創出」に続き、ソリューション創出フェーズ「ピアサポートの価値創造と普及による新しい医療社会モデル構築にむけた展開」に採択され、協働実施者として代表の宿野部が参画した(2021年より継続)。

詳細→https://www.jst.go.jp/ristex/solve/project/solution/solution24_kitaharapj.html

iv. その他事業

(ア) 海外との連携

- 6月10日～12日バーリンガーインゲルハイム主催 Global Patient Partnership Summit 2025 in Kuala Lumpur に参画。Patient Experience Data (PED)と Patient Participation in Healthcare の2つのテーマについてセッションとワークショップを行った。
- バーリンガーインゲルハイム主催 Global Patient Partnership Initiative GPPI Community Call に10月16日、12月18日の計2回出席した。
- Global Patient Alliance for Kidney Health に参画し、GloPAKH Membership Meeting に1月20日、4月22日、9月3日、11月20日の計4回出席した。
GloPAKH 詳細→<https://globalkidneyalliance.org/>

II. 収益事業

i. 団体運営支援事業

(ア) 事務局運営支援

一般社団法人心臓弁膜症ネットワークの事務局運営支援として、バックオフィス全般、イベント開催支援、広報、グローバル活動支援など、幅広く対応した。

主な実施業務

| | |
|--------------|--|
| ① 管理業務 | <ul style="list-style-type: none"> • 経理業務、電話・メールの問い合わせおよび相談対応やファイル管理、会議・理事会・総会開催などの管理業務全般を行った • 代表理事との定例 MTG(月1回)を実施した • 支援者向けニュースレターを配信した |
| ② SNS・ウェブサイト | <ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトの更新・管理・問い合わせ対応に加え、Facebook と X、Instagram アカウントの運用を行った • 毎週心臓弁膜症に関するニュースを SNS にて配信した • 体験談を4本制作しウェブサイトに掲載した |
| ③ グローバルの取組 | Global Heart Hub との心臓弁膜症啓発キャンペーンと心臓弁膜症啓発ウィーク開催のサポートをした |
| ④ イベント企画・運営 | 4月24日 支援者向け活動報告会(オンライン)開催 6月15日 対面交流会開催 8月23日 オンライン勉強会(健康ハートの日記念)開催 11月30日 対面勉強会+交流会開催 12月20日 オンライン交流会開催 |

(イ) 活動支援

患者会・患者支援団体の充実した活動を支援するため、オンラインイベントの開催サポート、アーカイブ動画編集等、患者会本来の活動を活性化するサポートを行った。

受託概要

| 団体名 | 実施日 | 内容 |
|--------------------------------------|--------|---|
| NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 | 1月～12月 | 慢性疾患セルフマネジメントプログラムの広報支援、管理業務サポート |
| 東京科学大学 東京科学大学病院 臨床腫瘍科 | 1月18日 | ハイブリッドイベント「がんゲノム医療実践講習会～事例に学ぶ～」運営サポート |
| | 3月22日 | ハイブリッドイベント「みんなで学ぼうがんゲノム医療の実際」運営サポート |
| | 10月25日 | ハイブリッドイベント「がんプロ講座」開催サポート |
| 認定非営利活動法人希望の会 | 2月20日 | オンラインイベント「胃がんセミナー2024～患者さんのための胃がん治療ガイドラインのすべて」「胃がんに対する薬物治療～とことん質問に答えます！～」運営サポート |
| | 3月19日 | オンラインイベント「希望の会 10周年記念「知っておきたい！胃がんの予防・早期発見のこと」」運営サポート |
| 特定非営利活動法人膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク《膠サポ》 | 5月11日 | オンラインイベント「エリテマ未来宣言 2025『私たちのお薬 これからのお薬』」開催サポート |
| 特定非営利活動法人 ICT 救助隊 | 6月 | 「第11回自分をプレゼン!」DVD 用映像編集 |

ii. 講演セミナー事業(講演/セミナー企画運営事業)

新薬や製品開発からマーケティングまで、製品のライフサイクルの様々なプロセスに病気をもつ人の“こえ”を届けるため、ライフサイエンス企業を中心に、講演や研修の企画運営を通して病気をもつ人の生活実態、困りごとや本音、アンメット・メディカルニーズを伝えた。

受託概要

| 企業名 | 実施日 | 内容 |
|---------------------|-------|----------------|
| EAファーマ株式会社 | 1月29日 | 社員研修(リアル開催) |
| | 2月14日 | 社員研修(リアル開催) |
| | 5月19日 | 講演会 |
| | 7月4日 | 社員研修(リアル開催) |
| 第一三共株式会社 | 2月21日 | 座談会 |
| | 3月12日 | 座談会 |
| | 6月16日 | 座談会(リアル開催) |
| | 6月30日 | 座談会(リアル開催) |
| | 9月29日 | 座談会(リアル開催) |
| 協和キリン株式会社 | 2月26日 | 講演会(リアル開催) |
| 小野薬品工業株式会社 | 3月3日 | 講演会(リアル開催) |
| 大正製薬株式会社 | 3月5日 | 講演会(リアル開催) |
| 中外製薬株式会社 | 4月8日 | 新入社員研修 |
| アルジェニクスジャパン株式会社 | 4月23日 | 講演会(リアル開催) |
| 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 | 7月29日 | ワークショップ(リアル開催) |

| | | |
|--------------------------------|--------|--|
| イーピーエス株式会社、メディデータ・ソリューションズ株式会社 | 9月15日 | 第25回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2025 in 大宮 共催セミナー(リアル開催) |
| アイパークインスティテュート株式会社 | 10月31日 | 座談会(リアル開催) |
| 大塚製薬株式会社 | 11月17日 | 講演会(リアル開催) |
| アステラス製薬株式会社 | 11月19日 | 講演会(リアル開催) |

iii. アドバイザリー事業("こえ"の活用事業)

(ア) "こえ"のプロデュースプロジェクト

病気をもつ人の"こえ"を価値に変換し、病気をもつ人視点の治療・薬・サービスに繋げるため、各種アドバイザリーや情報提供、執筆などを行った。また、学会・研究会等への登壇や医療について学ぶ学生に対する講義も積極的に行った。

受託概要

| 企業/団体名 | 実施日 | 内容 |
|----------------------------|-----------|---|
| 一般社団法人 米国医療機器・IVD工業会(AMDD) | 1月10日 | 年頭記者会見(リアル開催)登壇 |
| アレクシオンファーマ合同会社 | 1月15日 | ICFレビュー・インタビューコーディネート |
| 日本メドトロニック株式会社 | 1月19日 | インタビューコーディネート |
| 小野薬品工業株式会社 | 2月3日 | インタビュー動画コーディネート |
| | 2月23日 | インタビュー動画コーディネート |
| | 11月28日 | インタビューコーディネート |
| | 12月15日 | インタビュー動画コーディネート |
| 帝京平成大学 薬学部 | 2月12日 | アドバンスセミナーⅢ ① 臨時特別講師 |
| | 5月9日 | アドバンスセミナーⅢ ② 臨時特別講師 |
| 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 | 2月22日 | 令和6年度治験・倫理審査委員会 委員養成研修 講師 |
| 第一三共株式会社 | 2月 | PFDD(PLSレビュー) |
| | 3月 | PFDD(PLSレビュー) |
| | 5月 | PFDD(ICFレビュー) |
| | 6月 | PFDD(ICFレビュー)2件 |
| | 10月 | PFDD(ICF および資材レビュー) |
| | 11月 | PFDD(ICF レビュー) |
| | 12月 | PFDD(ICF および資材レビュー)計3件 |
| 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 | 3月10日 | 動画制作コーディネート |
| | 3月14日 | 論文アドバイザリー(オンライン) |
| | 4月7日 | 資材監修 |
| | 6月10日~12日 | Global Patient Partnership Summit 2025 @Kuala Lumpur 参画 |
| | 10月8日 | CKDに関するアドバイザリー |
| ノバルティス ファーマ株式会社 | 3月17日 | 資材レビュー |

| | | |
|---|-------------|--|
| | 6月4日 | Patient Representatives Roundtable 参画 |
| イーピーエス株式会社 | 4月21日 | 患者向けサービスアドバイザリー |
| 一般社団法人欧州製薬団体連合会(EFPIA) | 4月10日~5月28日 | 有識者勉強会①~④ 参画 |
| | 10月20日 | Patient Forum2025 登壇 |
| | 12月14日 | 医療情報・治療情報に係るアクセス課題に関する座談会 参画 |
| JAPhMed-PhRMA -MAPS, Japan Medical Affairs Summit 5th Annual 2025 | 4月17日 | Patient Perspective Session 登壇 |
| 一般社団法人サードパス | 5月21日 | オンライン勉強会「yururi(ゆるり)」 登壇 |
| 資生堂クリエイティブ株式会社 | 5月28日 | INCLUSIVE BEAUTY 触感テスト コーディネート |
| 日本製薬工業協会 | 5月28日 | 患者団体連携推進委員会総会 登壇 |
| | 8月19日 | 第3回アドバイザリーボードミーティング アドバイザー |
| 国立成育医療研究センター 研究所 | 7月16日 | 特別セミナー「医学研究における PPI (Patient and Public Involvement: 患者市民参画)のあり方」 登壇 |
| 佐藤製薬株式会社 | 7月31日 | 資材監修 |
| 特定非営利活動法人一新塾 | 7月23日 | 一新塾 55・56期 OBOG コンサルティングコース合同コンサルテーション アドバイザー |
| 日本サイコオンコロジー学会 | 10月11日 | 第38回日本サイコオンコロジー学会総会 登壇 |
| キッコーマン株式会社 | 12月2日 | インタビューコーディネート |
| 日本臨床薬理学会 | 12月5日 | 第46回日本臨床薬理学会学術総会 シンポジウム15「AMED患者・市民参画(PPI)“これやってみた&気づいた”シンポジウム」 登壇 |
| 慶應義塾大学 理工学部 | 12月22日 | 創造と倫理 外部講師 |
| 日本製薬工業協会 | 1月~12月 | 患者団体アドバイザリーボードメンバー |
| 国立大学法人東京科学大学 | 1月~12月 | 治験等審査委員会外部委員 |

iv. その他事業

(ア) 就労支援/継続支援事業

「公益財団法人洲崎福祉財団令和6年度継続助成金(1年目)」採択を受けて、6月より以下の活動を行った。

- 企業への健康問題と離職リスクに関する調査実施
6月より企業への打診を始め、合計40社以上に協力を打診したが成約に至らず、2026年よりパネル調査に方向転換した。
- コンソーシアム設立・運営
昨年より設立に向けて業界を問わず様々な企業との情報交換を行い、参画企業を増やすため、2026年2月より「テンポ経営研究会」として自由参加の研究会形式で運営していくこととした。

- 展示会への参画
 9月10日～12日 第7回 健康経営 EXPO[秋]出展
 活動報告→<https://ppecc.jp/news/000583>
- セミナーへの参画
 9月6日～10月18日 日経ビジネススクール(ソーシャルデザイン集中講座)参加
- 好事例の視察、協働先の拡大
 - ✓ コミュニティー(social hive HONGO)を活用して好事例の情報収集
 - ✓ 9月 NPO 法人新公益連盟に参画
 - ✓ 10月 一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボに参画
 - ✓ 11月12日に日経ビジネススクール参加者を対象にコンソーシアム PR イベント企画を実施
 @HIRAKU IKEBUKURO、参加者 20名
 - ✓ 11月 富士通が運営する Uvance Innovation Studio に入会
 - ✓ 11月9日～10日 株式会社はたらクリエイト(長野県上田市)の視察
 - ✓ 12月12日 新公益連盟主催 共助資本主義 第5回マルチセクター・ダイアログ参加
 詳細→<https://www.doyukai.or.jp/newsrelease/2025/251212.html>
 - ✓ 12月13日 成澤俊輔 Presents”SUPER INPUT”参加
 - ✓ 12月1日より株式会社ふえんととの協働開始
- 難病者への支援プログラム
 12月より治療と仕事の両立支援プログラム(HWSSP:Healthcare and Work Skill SupportProgram)の作成を開始した。
- 広報他
 - ✓ 10月3日 メールマガジンの定期配信(企業/協働先向け、月2回)開始
 - ✓ 11月11日 note「PPeCC と考える『テナポ経営』」運用開始
 詳細→<https://ppecc.jp/news/000604>
 - ✓ 12月15日 東京都 家庭と仕事の両立支援ポータルサイトにてピーパックの事例「設立理念が導いた、難病を抱える人も働ける環境づくり」紹介
 詳細→<https://www.katei-ryouritsu.metro.tokyo.lg.jp/cure/ill/jirei/j10.html>
 - ✓ 12月18日 治療と就業の両立支援指針案に関するパブリックコメントを提出
 詳細→<https://ppecc.jp/activity/post/000613/>

(イ) その他

8月31日 「いりょう」「くらし」「しくみ」をテーマに、疾患の壁や立場の垣根を越えて、患者・家族、医療関係者、行政、企業等のステークホルダーが集い、現代の医療・社会課題の解決に向けた対話を行う会議「第1回 日本患者会議<Japan Patients Open Meeting:JPoM>」を開催した。世話人組織として、一般社団法人 全国がん患者団体連合会(全がん連)と一般社団法人日本難病・疾病団体協議会(JPA)、事務局担当組織として、特定非営利活動法人 ASrid と、一般社団法人ピーパックが務めた。

事前アンケートの実施→<https://ppecc.jp/news/000533>

報告書・宣言→<https://www.facebook.com/profile.php?id=61577034846898>



3. 理事会・総会の開催状況

2025年度 第1回 定時理事会

| | |
|----|--|
| 日時 | 2025年3月26日(水) 18時00分~18時29分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名 |
| 議案 | 決議事項 ・第1号議案 第6期計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件 ・第2号議案 定時社員総会の招集の件 議題:第6期計算書類及び事業報告書報告の件 理事3名選任の件、監事1名選任の件 報告事項 ・業務執行状況報告その他 |

2025年度 定時総会

| | |
|----|---|
| 日時 | 2025年3月26日(水) 18時30分~18時44分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、社員2名 |
| 議案 | 報告事項 ・第6期計算書類及び事業報告書報告の件 決議事項 ・第1号議案 理事3名選任の件 ・第2号議案 監事1名選任の件 |

2025年度 第2回 定時理事会

| | |
|----|-----------------------------|
| 日時 | 2025年3月26日(水) 18時45分~18時50分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名 |
| 議案 | 決議事項 ・第1号議案 代表理事選定の件 |

2025年度 第3回 定時理事会

| | |
|----|--|
| 日時 | 2025年6月25日(水) 10時00分~10時30分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名 |
| 議案 | 決議事項 ・第1号議案 臨時社員総会の招集の件 報告事項 ・業務執行状況報告その他 |

2025年度 臨時理事会

| | |
|----|---|
| 日時 | 2025年7月31日(木) 12時00分~12時29分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名 |
| 議案 | 決議事項 ・第1号議案 定款変更の件 定款 第7章 基金 を追加すること |

2025年度 第4回 定時理事会

| | |
|----|-----------------------------|
| 日時 | 2025年9月19日(金) 16時00分~16時30分 |
| 場所 | 当法人事務所 |
| 出席 | 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名 |
| 議案 | 報告事項 ・業務執行状況の報告その他 |



2025年度 第5回 定時理事会

日時 2025年12月25日(木) 13時00分~13時30分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名
 議案 決議事項 ・第1号議案 2026年事業計画・予算承認の件
 報告事項 ・業務執行状況の報告その他

4. 役員

| 氏名 | 役職 | 就任年月日 | 重任年月日 |
|--------|------|-----------|------------|
| 宿野部 武志 | 代表理事 | 2019年1月4日 | 2025年3月26日 |
| 武田 飛呂城 | 理事 | 2019年1月4日 | 2025年3月26日 |
| 米倉 佑貴 | 理事 | 2019年1月4日 | 2025年3月26日 |
| 佐川 達之 | 監事 | 2019年1月4日 | 2025年3月26日 |



事業報告の附属明細書

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

一般社団法人ピーパック
代表理事 宿野部武志

